



2024年1月10日

各位

会社名 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤田 元宏
(コード番号 3222 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部長 菅波 俊一
(TEL 03-3526-4769)
当社の親会社 イオン株式会社
代表者名 取締役兼代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号 8267 東証プライム市場)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、第3四半期累計時点の業績動向から、2023年4月11日に公表いたしました2024年2月期(2023年3月1日～2024年2月29日)の通期連結業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年2月期通期連結業績予想数値の修正(2023年3月1日～2024年2月29日)

(単位 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	733,800	9,200	9,300	2,000	15円58銭
今回修正予想(B)	709,000	6,000	6,000	700	5円45銭
増減額(B-A)	△24,800	△3,200	△3,300	△1,300	
増減率(%)	△3.4	△34.8	△35.5	△65.0	
(参考)前期連結実績(2023年2月期)	708,690	6,384	6,536	1,336	10円41銭

(2) 修正の理由

2024年2月期通期連結業績予想の修正理由は以下の通りです。

今期は新型コロナウイルス感染症の第5類への変更を契機に人流の往来や、雇用・賃金環境に改善の兆しが見えてくるなど、社会活動や経済活動は緩やかな回復が続いております。一方、エネルギー価格の高騰や様々な食品や生活関連商品の値上げによって、お客さまの来店頻度や買上点数の減少が続いたことから、省力化のための投資の先行や新たな顧客カードの発行による販促などこれまでとは異なる構造への転換を急ぐ手立てを打ちました。この新たな販促施策ではお客さまへの浸透期間を要していることから客数が前年同四半期を割り込みました。また販管費においても省力化につながる設備の先行投資等に伴う減価償却費や、来店客数拡大に向けた販促施策のコストなどが増加した結果、第4四半期連結累計期間における営業利益は計画比で65.2%となり、更には店舗閉鎖損失等の特別損失も計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益が想定を下回るため、第4四半期累計期間の連結業績予想数値を修正するものであります。

なお、第3四半期の連結業績につきましては、本日(2024年1月10日)発表の「2024年2月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照下さい。

※上記の予想は、現時点における入手可能な情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上